

エコマテリアル・フォーラムからの提言

東京オリンピックを **ECOLYMPIC** に！

国際オリンピック委員会は、五輪憲章で「環境問題に関心を持ち、持続可能な開発を促進する」と掲げており、2012年に開催されたロンドンオリンピック・パラリンピックは、スクラップ&ビルドではない「持続可能性（サステナビリティ）」を目指す大会として運営され、史上最も環境に優しい大会として高い評価を得ている。そのなかではその開催に際して、ISO20121「持続可能なイベント運営」が策定されるなど、オリンピックにとどまることなく持続可能なイベント運営を指し示す指針作りにも貢献している。

一方、2020年の東京オリンピック・パラリンピックは、2014年8月に当時の石原環境相が「日本の優れた環境技術を国内外に発信する」として「環境五輪」構想を発表したものの、具体的な進展が見られないまま、国立競技場の解体/新設などの段階に入っている。あと5年となった現在、このままでは東京オリンピックは、1960年代のスクラップ&ビルト型、非持続的な打ち上げ花火型のオリンピックに後退してしまう危険性も懸念される。

オリンピック・パラリンピックという世界的なイベントを未来の持続可能な社会にするためのステップとしても生かしていくために、エコマテリアル・フォーラムは、多くの心ある皆様に、「東京オリンピックを EcoLympic に」の呼びかけを巷から起こしていき、大きな世論としていくことを呼びかけます。

東京オリンピックをECOLympicに

- 循環型社会20年
リサイクルベースの素材利用率90%
リユースシステムの徹底利用
発生廃棄物量の削減
Tokyoでmottainaiに参加しよう
- 脱炭素社会元年
水素エネルギーシステムの利用
再生可能エネルギーの活用
徹底した省エネルギー エネルギーもMottainai
- 自然共生社会200万年
生態系との調和
天然素材の活用
心温まる関連イベント
自然と調和したOmotenashi



持続可能なイベントとしての Ecolympic